

- 生まれてからも、顕微授精でできたことで、普通の子とちがうのではないかと多少の不安はありました。子供の成長を見ていて、そんな事はないなと思っていますが、今度はこの子が親になる時、子供が出来にくいとかあるのかなど不安に思うこともあります。女の子だったら、なおさらだと思います。なので私は、成人するまで追跡調査は必要かなとも思います。
- 同じ悩みを持つ人ならば判ってもらえるが、なるべくなら、部外者には知らせたくない考えがあります。追跡調査には反対はしませんが、学校の先生（幼稚園も含む）には知らせなくても良いのではないかと、医師の間で知らせて欲しいと思う。
- 小児科で中学生の元気な女の子がとつぜん寝たきりになった。不妊治療を10年してやっとできた子供だったときいて、不安になりました。不妊治療が原因になっているのかと考えました。出産後の追跡調査で統計をとるべきだと思います。
- ARTと自然妊娠では、生まれてくる子供に特別な違いはないという信頼できる調査結果があれば、私はもっと早く体外にステップアップできていたと思うので、なるべく早く制度化してほしいです。（ただ親の意思に関係なく、子供本人に伝わる可能性があることには不安を感じます。）
- 高齢出産の為、子供がちゃんと五体満足で産まれてくれるかが心配です。今後、出産年齢等ともなうリスクなどがわかるのであれば、よりいっそう安心した治療を受ける事が出来ると思いますので、よろしくお願いします。
- 差別をうけたりすることは心配ですが、今後の方達にも安心してほしい気持ちもあります。ハッキリ明記することに抵抗がある方もいると思います。手帳への記入のしかたを少し変えてみるのもいいのでは…（マークとか）。不妊治療助成金もでていますが、まだまだ高いです。保険適用になると、もっと治療したい人もいると思うので、なんとかなったらいいですね。
- 生まれた子供が、他の子と体質・学力など差がない事を望んでいます。一番の心配は、子供も不妊で悩む事がないか、心配です。
- 不妊治療を行っているが…本当に色々と不安がある。実際、成功された方、あきらめた方の意見も聞きたい。少しでも不安がなくなる。
- まだ妊娠経験はありませんが、治療（顕微授精）を受けている今、子供が出来た時の事が不安になることもあります。無事に産まれてくれるのか、子どもが成長した時に普通妊娠ではない事をどう思うか、また思われるか。大丈夫なんだという事が世間一般に浸透することを願います。
- 私が不妊治療をする際に情報が欲しくて、ネットで調べましたが、治療の情報はあっても子供の情報がなくて不安を感じました。今でもそれはあるので、追跡調査等で調査し、情報公開をして頂きたいと思います。
- 体外受精で産まれる子供が異常なく元気な子供であるかどうかという不安があります。
- 私の場合、自然妊娠は難しく、不妊治療なくては子供を授かる可能性は低く、体外受精はかくすどころか感謝しています。なるべく多くの方に理解していただきたいと治療を一部オープンにしている（一部の理由…治療し、子供を持つ事に反対の人には話さない）。子供を授かり大切に健康に注意して育てたいので、母子手帳に記載する事は、追跡調査は絶対に必要と思っている。追跡調査が生涯と考えるのは、仮に成人してから臓器移植他何かの場合、少しでも情報を渡し役立てたいと思うからです。母子手帳記載が小児科受診時に説明の必要がなく、むしろ助かります。今後、少しでも多くの方が治療を受けれるよう、データの開示や助成金をお願いします。できれば

治療を保険適用にさせていただきたいのですが。どうか、少しでも多くの方が治療でき、子供が生まれますよう制度を整えてください。

- 厚生労働省に追跡調査をぜひしてもらいたい。
- これからの不妊治療の為にも、追跡調査は大切だと思います！
- 今、不妊でなやむ人がたくさんいます。やっと授かった命、そしてその後の生育の為、色々と調査をしてほしいと思います。そして今後、新しい命がたくさん育つ様、協力して行きたいと思います。
- 次世代が安全で安心してARTをうけられるように。
- 次の子供達のためにも、ぜひ、確実な調査（データ）をお願いしたいです。
- ARTの妊娠は特別（ネガティブ的）なことではないという意識が大切だと思います。国、社会、コミュニティーの理解やサポートが増えれば良いと思う。しかし、最も大切なのはARTを受けた夫婦の教育だと思う。
- 不妊治療がこれほど普及している中、しかも今後も増える可能性がある中、今後、治療を受ける人たちのためにもぜひ必要だと考えます。治療を受ける人の不安をできるだけ減らし、体外受精で生まれてきた子に対する偏見をなくすためにも、お願いしたいと考えます。
- 医療機関や母子手帳への記入は必要なのかもしれないと思うが、やはりまだ一般の人（不妊治療していない人）には理解できない世の中なので、そのあたりの個人情報（医者などの方以外には見られない等）も守ってほしいとも思う。
- 先端治療の研究にはたくさんのデータが必要だと思う。
- 100人に1人がARTといわれているので、かえって公表したほうが偏見等が減って良いと思う。
- 不妊治療の保険適用を早期に実現して欲しいです。
- 現在、年2回5年間助成金制度ですが、せめて、トータル10回としてほしいです。年齢がいくと続けてする人が多いと思うので。
- メディアに協力してもらい、テレビ番組等で不妊治療のその後など世間に広くしらしめ、誤解や間違った認識を正すような活動も行う一方で、調査しやすい環境をつくってほしい。
- 今よりも、もっと国が力を入れてほしい。
- 苦勞して授かる夢が叶ったなら、ARTによる妊娠のサポートを後々までして頂く方が、私は安心ですし、嬉しいです。必要なら、我が子にもこうやって授かったんだよ、と話してあげる日が来るといいと思いますので。
- 一般に体外受精後の発育は通常妊娠の時と同じと言われているようですが、事態を知るとしての調査はあった方がよいと思います。
- 私自身は記載については異論はないが、周囲の人の理解が得られるかは心配。
- ARTで生まれたことをあえて子供に伝えようとは思っていないので、調査をするなら子供にわからない形で行ってほしいです。
- ARTにより命を授かることができるのなら、もっと公的にも（医療保険の適用など）認めてもらい、一般的な治療法のひとつとなれば良いと思う。
- 追跡調査をするコトで、子供同士が知るコトで、イジメにつながるコトもありそうな気がしました。

- 体外受精後の妊娠により産まれた子どもの生殖能力については、研究する必要があると考えていますので、追跡調査は実施し、かつその情報は国、病院、研究機関で共有すべき情報だと思っています。また、産まれた子どもにも親が知らせるべきことだと思っています。
- このような研究自体がある事をよく知らなかったのが、情報をもっとあればいいと思います。
- 母子手帳は地域の保健師など、たくさんの人の目に触れるので、そこまで書かなくてもよいと思う。調査の内容は吟味してほしい。
- 子供に ART について知らせる事はとても抵抗があるし、世論がまだまだ「何でもないことだ」という感覚になっていない現状では、やめた方が良いでしょう。追跡調査で「正常妊娠と ART 妊娠では全く変わりが無い」という世論の認識があたり前になって初めて、母子健康手帳への記載等を検討して下さい。そうでないと、ART が進まなくなると思います。
- 追跡調査は大変だと思いますが、しかし調査の結果、プラスになることがあると思いますので、今後のためにも協力するので頑張ってもらいたい。
- このような調査を行なう以前に、働く女性に子供が授かる為には子供を産める年齢に限りがあることをもっと広く知ってもらい、チャンスを逃さないよう知らせてあげて下さい。そして不妊治療に保険適応を早く実現して欲しいです。どれだけ多くの女性が不妊治療を行なっているのか、世間の人達は知っているのでしょうか？
- 不妊治療 (IVF-ET) 後の出産児に関しては、親として様々な心配があります。海外でははじめての体外受精児の方が結婚されたと聞きました。次世代へ命をつないでいく為に我が子は大丈夫なのか etc、考えます。採卵、胚移植を医療にたよっているだけですが、その過程で何らかの支障があるのでは…など。根拠があるわけではありませんが。IVF-ET 児が成長していく過程を追う事は広い意味でとても必要と考えます。
- ART での出生児と普通妊娠での出生児との違いがあるか心配になるので、追跡調査を行いデータが発表されると良いと思います。
- 本当に望んで子供を希望しているので、産まれた子供にはずかしくないという気持ちはある。でも、そのために病気が発見されれば、気持ちが動くかもしれない。
- ART が世間に、より浸透していけば、仕事を持ちながら診察を受けやすくなるので、そのための調査として積極的に進めていって欲しいと願います。
- 不定に思っている方が多数だと思うので、きちんとした統計などは必要だと思います。
- 不妊治療を研究されている方々に敬意と感謝の気持ちです。患者が頼りになるのは、統計 (細かな情報収集) であると治療を終えてつくづく感じました。今後も少子化社会のためにも研究を続けていってください。
- 調査されることについては welcome ですが、手帳に記入したり、ましてや出生届で届出の必要性は感じません。ART が全額公費負担だというなら話は別ですが、自費で個人がしている事ですので、公に届出のことを義務化されるのは違うと思います。不妊の方はとても多いです。多くのデータがある事はとてもプラスだと思います。調査、頑張ってください。
- ART によって生まれた子供の健康などを公共機関が調査したデータを見られる HP 等があるとよいと思う。
- 偏見があるから隠したいと思うのだから、一般の人にも理解されるように open にしていけば

いいと思います。また、補助金をもう少し多くして負担が減るとうれしいです。

- 各施設の治療費の標準化について是非研究して頂きたいと思います。
- 母子手帳や出生届に ART 後の出産であることを記入する必要性はないと思います。制度化されるのは精神的に苦痛を感じるので反対です！！子供に ART で出産したことを伝えるつもりはありません。
- ART を考えた時に自分も色々な資料を見て参考にしたので、調査をして正確な資料を作成する大切さは理解しつつも、かなりデリケートな問題なので、制度化が実行されたら少子化ももっと進むし、ただ純粹に子供がほしい人達が今よりもっと苦しむと思います。
- 子供には、あまり知られないようにしたいです。
- 望むこと…やっぱり体外受精・胚移植、顕微授精は高額で治療できる方が限られてくるので、平等に誰でも受けることができるよう、他の病気と同じように保険で治療が出来るように強く望みます。追跡調査についても、これからの不妊治療の研究には必要なことだと思うので、たくさんの人に協力してもらってそのデータを役立ててほしいと思います。
- 母子健康手帳は家族や子どもの目に触れる可能性が高いので、ART の事実を記載したくありません。必要（関係）機関で情報の共有を図ってもらいたいです。
- 不妊治療の進歩のため追跡調査は必要だと思うが、生まれた子や周囲の人に ART で生まれたことをかくしたい人もいると思うので、なるべく子や周囲の人には知られないような形での調査がよいと思う。
- 顕微授精の子供の場合、男子だと受精能力のない子供が生まれる可能性があると言われ、不安がありました。症例が集まり、その不安が少しでも緩和出来、今よりも安心して顕微授精が出来れば良いと思います。
- 現時点で ART による出生児がいじめを受けたり差別を受けたりという情報を私自身が聞いた事がないので何とも言えませんが、児の将来において、通常に生まれた児と違いがあったり、何らかの弊害が出て来るとなれば、自分の子には ART による出生児である事を知らせない、又は他人に知ってほしくないと思っています。ですので、追跡調査は必要だとは思いますが、私だけが知り、協力して行ける最良の対策が見つかる事を願います。
- ART を受けて産まれた子供達の調査は、今後の治療を受ける人たちのためにも必要であるとは思いますが、ただ、母子手帳に記載され、誰でもが見てわかるようになるのは少し抵抗があります。
- 分かったことがあれば、政府が分かりやすく公表してほしい。
- 追跡調査はかまわないが、生まれた経緯を世間に公表するような必要はないと思う。子供にその事を知らせる必要もないと思う（体外であってもそれまでの負担は様々にあると思う）。生まれたら他の子と何も変わりなく同じだと思うから。差別が起るかどうかは、その事を公にするかどうかだと思う。
- 追跡調査は意味があるように思うが、子供が差別や区別を受けるような事はして欲しくないです。
- 追跡調査は流産や奇形の追跡が必要であるため、母子手帳に記入して他人に知られる様な事をするのは反対です。3 才頃までに赤ちゃんに問題がなければ、それで調査終了で良いと思っています。他に助成金を手厚くする様に、そっちの方に力を入れて下さい。
- 子供本人には知られない方がいいとは思いますが、事実として受けとめる必要もあるので、気持ち（母

子健康手帳への記入制度化)は複雑である。

- ARTで生れた2歳の子供がいますが、とても健康です。母子健康手帳への記入は義務でなくても良いと思います。
- 治療の保険適用を考えてほしい。
- 不妊治療は病気ではないから保険適応ではない…と分かっている、かなりの高額にもなるし、心身共にデリケートな問題で、自分自身を責めてしまいます。少しでも負担額が減るだけで、精神的にも変わってくると思います。国は少子化とさわぐわりに、不妊治療に関しては積極的ではないと思う。体外受精の負担額15万円だけでは、全く足りません。この問題をもっと考えてほしい。
- ART施設から分べんのために他院へ転院した時に、ある医者から、卵を作っては凍らせてはをやったんですね、と心ない事を言われました。やっと妊娠できたのに、治療したという事が分かる、とひどい事を言う人がいるので、慎重に行うべきだと考えます。
- 今現在、多くの方が治療され、世の中にも少しは認められる様になったと思いますが、ARTで生まれた子供が不通に生まれた子と一緒に暮していけるのかが心配です。質問にあった様に、もし母子手帳に記載し、子供がその事実を知ったらどう思うか？私にも1人子供が居てますが(ARTにて)不安で仕方ありません。悪い事では無いんですが、もし、みんなに分かって、いじめとかにあうんじゃないかと色々と考えてしまいます。でも本当にどうしたらいいのか、今は考えられません。
- 安全で健康に育つということが確立・証明されたから、現状、ARTが一般的に行われているという認識です。まだ、これから調査をして安全性を確認するという段階では、普及させてはいけないのではと思います。
- 全てプライバシーを守れることを前提に、その子供自身の健康管理を目的とする調査というよりも“検診”であれば必要であると思う。それゆえの母子手帳記載は理解できるが、子供自身のプライバシーを守るという意味からも、出生届に記載する理由は必要ないと考えられる。
- 日本には“試験管ベビー”という言葉があり、ARTに対して偏見を持っている方はたくさんいると思います。そのため、不妊治療を行っている事を隠して通院している方は多くいると思います。私もその中の1人です。第1子をARTで授かりましたが、その事は私達夫婦の外は私の母しか知りません。追跡調査は大事なこともかもしれませんが、患者の立場からすれば、母子手帳や出生届への記載等文書に残り、夫婦以外の方が目にする可能性がある事はしてほしくありません。不妊治療を行った事に後悔はありませんが、子供がそれを知った時、傷つくのではないかと不安があります。
- 不妊治療で授かって自然に授かって命は同じだから、ARTだからといって母子手帳に記載する意味があるのか？記載することで何らかの医療機関からフォローがあるのか？わからないので、プライバシーの問題でもあるから母子手帳に記載する必要はないと思います。40代ではARTでなければ授かりにくい、授かった時は追跡調査をして高齢出産でも無事生まれるという結果から、希望を与えて欲しい。
- 金銭的なことになりますが…援助金が限られているので、せめて保険適応してほしい。不妊治療というくらいだから病気扱いするべき。医療研究施設側からも国に働きかけてほしい。子供が欲

しくて色々がんばっているのに、よその子供に税金で手当として持っていかれているのは今の自分にはたえがたい。あと、病院によっては「やってあげてる」みたいな態度もあるので、改めるべき。機会があれば、給料は患者から出ているということを伝えてほしい。

- このアンケートとは関係ないかもしれないが、少子化対策として助成金を少しでも増やして欲しい。
- 不妊治療費の補助金制度がありますが、受付の人が他に言うのでは？などと不安に思い、申請するか迷ってしまうくらいです。本当の希望をお話するとしたら、ART 施設に書類を提出、手続きできることができれば良いのになあと思います。私は周りの人にほとんど話していないので、通院日が続いたりすると「バレているのでは？」と不安になります。そういうこともとてもストレスに感じます。
- 不妊治療では精神的にも肉体的にも負担が多くツライ…と良く分かった。これがずっと続くと思うと少々不安…治療費も高く、いつまで子供を希望することができるのかもわからず、本当に悩ましい。友達はお金が続かずあきらめたという…国には少子化というなら差別、区別なくもっと色んな意味で理解し助けて欲しい。年に1回でも2回でも、少なくてもいいので保険診療として収入に関係なく治療ができればチャンスも増える？
- 不安になりました。ART で妊娠し出産することが本当に良いことなのか、母子手帳への記載など考えもせず進んでいたことが、今になり少し不安になりました。誰の為の追跡調査なのか。不妊で悩む方々の為であれば、調査して、クリニックでの報告は良いと思うが、一般の方々にはどう捉えられるのか、そこが不安。
- 追跡調査は必要だと思いますが、不妊治療を経験していない人たちには、まだ差別的な見方をする人たちが多くいるのも事実です。実際に私自身、不快な思いをした経験があります。治療を受けるだけでも大きな精神的ストレスを受けるのに、親でさえもなかなか理解してもらえず苦しい思いをしました。(助成金の申請に行った時も保健センターで不快な思いをしたこともあります。)だから、調査をすることでART のことが他の方に知られることは賛成できません。
- ART において出生した時の経過をみることは重要だと思います。← (まだいろいろと判明されていないので) しかし、ART 時に関して偏見をもっている方も多いのも現実です。出産後、子供の健診などで何かあると、ART であることが母子手帳に書いてあれば「やっぱり ART 児は…」などと言われることもあると思います。現に ART 児は自閉症が多いなどのうわさも聞いたことがあります。まずは、医療機関で情報を共有し、いろいろな事が判明した上で、母子手帳の記載が必要と判断されたのなら記入すればいいし、必要性がならないむやみに記入すべきではない。母子手帳は小学校まで使用します。偏見がいじめにつながる恐れもあるので、必要性が判断されるまで絶対に反対です！！
- ◎高度治療にも保険の適用をしてほしい。さらなる医療の発展を心から願っています。
- 営利の為に医学の知識のない一般人に対しての親切さ(説明やART への信頼が得られるような情熱)が、技術を広めたいという立場の人からの情熱が感じられない。ART への信頼度も明確ではないのに保険の適用範囲がせますぎる。お金のない人でも子供を幸せに育てられる人はいるはず。
- 追跡調査は、希望者のみでいいと思う。妊娠後、出産後に異常があった場合には、それがART が原因であるかどうか調べてほしい。

- 日本人の性格上、不妊治療オープンにすることはなかなかありません。世の中の人々が自然妊娠で生まれた子も、ART で生まれた子も差別のない、オープンにできる世の中になってほしいと願っています。そのためにも、ますます ART の進歩と意識改革や、自費ではなく保険の適応など、がんばってほしいなと思っています。
- ART を実施するにあたり、国からの補助を受けていない（ダブルインカムで収入があるため）のに、母子手帳への記入が制度化されたり、何かを強要されたりするのは違うと思う。誰もが平等に ART を行える国の体制をまず整え、ART 児の調査を行うようにしないと納得しない人が多いのではないかと考えます。平等に行える体制が早期に整い、行われることを強く希望しています。そうなれば、積極的に調査に参加します。責任（義務）として。
- ART、特に顕微授精は人の手で授精させるので不安がある。現在は元気でも、成長するに伴い何か病気になるのではと…。又、ART で産まれた子供も生殖能力に問題があるのでは…。欧米の研究結果だけで、アジア人に当てはめてしまうのは不安。成長に伴って何か病気になったとき、ART で産まれた子供によく見られる場合、治療法やサポート等ができるのではと思い、追跡調査を強く希望します。
- やはり、自然ではない事なので、不安があるので、実施してもらいたい。そして、確かな治療にしていってほしい。最近、身近でも不妊に悩む人が多いので、はずかしい事ではないという意識になってきていると思うので、やってほしいです。あと、子供手当でお金をばらまいているのに、補助金が少ないです。私は1年に70万以上かかっているのに、それに適した補助金にしてほしい。私たちはまだいいけど、治療できない人はたくさんいると思う。
- 治療をする施設と分娩する施設、引越しなどでかかりつけの小児科も変わるというような場合には、全てがうまく連携されるのは難しいと思います。この追跡調査の結果、ゆくゆくは不妊治療への理解が深まり、国や自治体の治療費の助成の拡大などへつながっていくことを期待します。
- 私は、自然でも体外受精でも妊娠は同じだと思っているけど、体外受精になかなか踏みこめない不妊の方が多いと思います。なのに、母子手帳に記入制度化を実施したら、せっかく体外受精で子供が授かるかもしれない夫婦が、あきらめてしまう事が多くなると思います。体外受精は、私のような不妊の体でも子供を授けてくれたので、多くの人に、安全で、子供を授かる確率が高くなるという事を伝えて欲しいと思います。私は体外受精で子供ができて、今幸せに家族でいる事に本当に感謝しています。
- ・調査して統計を出すのであれば、細かくデータを取り、病気（なりやすい）や、その年令等、通常あるデータと同様の資料があれば良いと思う。通常の妊娠とあまり変わらなければ安心できるし、著しく多い病気や異常がわかれば、早期に対処できると思うので。 ・ART を1日でも早く標準化し、保険がきくようになる事、一般の人々が理解してくれるようになる事を望みます。また、不育症についても研究が盛んになる事を望みます。
- まだ、周りの偏見があるので、メディアでもっと取り上げてほしい。国も、体外について保険を適用をしてもらえよう努力してほしい。少子化と言いつつ、根源を変えていけてないと思うので、役に立つ（行動力のある）政治家がほしい。
- 自分を含め、多くの方が不妊に悩んでいる。行政は現実をもっと知るべきだと思う。もっと情報の開示、専門施設の拡大充実を願う。金銭的にも負担が大きい。たくさんの方を救って欲しい！！

- 私は、子供にはARTで産まれた事を伝えるべきだと思っていました。しかし、不妊理由が夫側にあった事で、夫は「結婚前にわかっていたら、自分は一生結婚しなかったと思う」と言われ、何でも伝えるのがベストではないかもしれないと思いました。子供が成長し、将来不妊で悩むようになれば、道標として伝えていきたいと考えるようになりました。
- 調査は大変重要であると考えますが、母子手帳への記載等は、子供にARTであることが知られてしまう可能性があります。伝える、伝えないは別としても、できるだけ文書で残る物はさげたいと思っています。制度化される場合は、分娩施設へは伝えないと思います。
- このような調査で、逆に、ARTは特別なことなのかと感じてしまいました。でも、ARTは必要な方がたくさんいるので、今、治療を受けている人や、これから将来こういう問題をかかえる人についていい調査結果がでることを望みます。
- ・子供への副作用などの調査は必要だと思います。 ・どの病院も予約時間きっかりに（そしてもっと遅くまで）診察でき、仕事を持っている女性にも、治療が続けやすくすべきだと思います。 ・少子化の為に、英国などの様に1人1回は国がコストを持ってくれたら、不妊治療のはじめの一步が早く、そして、確実に誰もがはじめられると思います。
- 今回、このような調査を始めて頂けることをとても歓迎します。ですが、生殖医療が発達してきたとは言え、まだまだ偏見が強いのが実情です。今後、またこのようなアンケートであれば、私なりに協力させて頂きたいと思っております。これから少しでも多くの方々にかわいい我が子を抱くことができるよう願います。
- ARTはすばらしいものだと思うので、今後治療をされていく方の参考になるのならば、調査等できるかぎり協力したいと思います。しかし、IVFで産まれたということをお子には伝えたくはありません。（あえて言う必要もないと思うので…）なので、母子手帳に記入は絶対にされたくはありません。反対です。（母子手帳はいずれ子ども本人の目にふれる機会が来ると思うからです。）
- あえて公の手帳に記載する目的がわかりません。リスクの方が大きいと思います。治療に対し偏見があるのも事実です。
- 母子手帳や出生届に記入した場合、子供が成人してから見るなら大丈夫だと思うが（理解出来ると思う）小さい頃に見たらショックを受けると思う（赤ちゃんは神様がつれて来るなど思っている頃）。質問されて説明にも困ると思う。
- ARTで生まれた事が出生後の成長にいつまで、どんな影響を及ぼすか知りたいし、必要に応じて対策もとりたいです。そのため、追跡調査にも協力するつもりです。協力の条件は、個人情報保護されること、調査結果をフィードバックしてもらえること。現在、前者には配慮が見られませんが、後者までは考えが及んでいない印象です。調査の協力者には、調査結果が届くよう工夫してもらいたいです。（アンケートを置いた医院に結果を届け、協力者に配布、協力者に調査結果表示のウェブサイトを通知など）
- 不妊治療を保険適用にするか補助金を増額するよう、もっと働きかけて欲しい。
- 統計結果をまとめて、患者さんが見れるように病院に置いてほしい。
- 不妊治療を受けていることを誰にも打ち明けられていないため、会社、または家族の方々には言えない。そんななかで通院していることの原因が言いにくくなっている（早退、有休など）。当りまえのように受け入れられる環境になれば有り難い。



- 結婚 8 年目、不妊治療 4 年目、体外受精 3 回目にして、妊娠することができました。今まで長く辛い日々でした。その間に、生殖補助医療を受けた人のアンケート調査結果を知れば参考になったと思うので、様々な角度から調査を行い、公表してほしいです。
- Q10 について…ART 後の妊娠についての記入は、するべきではないと思います。子供が成長して、母子手帳を目にする事がある事も考えられますし、子供にその事を伝える必要がないと思います。
- 子供にハッキリわかる制度には反対。子供は関係ないので。
- 出生率が減り、不妊症の夫婦が増えている今、少しでも多くの夫婦が安心して ART の治療を受けられるようにしてほしいです。妊娠出来る可能性がある人に ART をあきらめてほしくないです。ART の安全性、必要性をしっかりと調査して保険診療になるようにしてほしいです。
- ART の子と、普通に出産で産まれて来た子の違いは？そこまで追跡する必要があるのでしょうか？出産にいたるまでの過程では必要かもしれませんが。(今後の医学の為に)
- 子ども手当を出す前に、出生率がどうのこうの言っているのなら、まず、子供が産めるよう、不妊治療費が莫大にかかる事を認識して、負担を減らして欲しい！！
- このようなアンケートはとても良いと思います。生まれた子供が、どのように生きているのか追跡するのは必要だと思います。しかし、なかなか「他人に言える事ではないので…」と思うのが日本人の感覚だと思います。何か良い方法で、移植で生まれた子供が何事もなく生きているという%を出せると、もっとオープンになるのではないかと思います。が…日本人は難しいでしょう…。日医の先生方はその他の科の移植など優秀な先生が多くいらっしゃるので、何か良い報告が発表されるのを楽しみにしています。
- 追跡調査について。ART 後の妊娠・出産に不安がある。不安は、子どもが正常に発育するか、病気の発症など…。他のお子さんの成長も参考にしたいので、とても知りたいし興味がある。また、正常の妊娠・出産と変わりがないことも確かめたい。不妊に悩む一人として調査に協力し、今後に役立ててほしいと思う。
- 追跡のために医療連携施設に情報が登録されたり、通常の妊娠でも行うであろう母子保健手帳や出生届に、体外受精である項目が記載されるのは絶対反対です。もしそうであるなら、治療を行った病院以外には情報が出さないことを望みます。
- 近年、ART にて妊娠はとても数も増えています。その後、出産となる訳ですが、心配な点 (ART という思い) はつきません。医師にその事実を伝えるかは母親の判断だと思いますが (母子手帳等に記入するとか)、何か病気にかかった際、脳裏にうかぶのは「もしかして…ART で出来た子供だから。」しかし、追跡調査を行っていただく事で多少のわずらわしさはあると思いますが、親として母としてホームドクターと同じくらいに信頼して相談できるし、日々の生活、子供の成長について安心できると思います。是非、研究を進めていただきたいと思っております。
- 現状では、妊娠し、継続、健全な出産への希望しかないもので、それ以降のことまで考える余裕はない。少子化をどうにかしたいなら、不妊治療を保険適応してほしい。
- 妊娠後の追跡調査は、不妊治療を普通の人に理解してもらうためにも、また、治療中である私達の不安をなくすためにも、あっていいと思います。ただ、母子手帳や出生届への記載は、母親以外の他人が目にする事があるので、反対します。ART で生まれた事実を子に話すかどうか、時期などは、家庭内の大切な問題と思うので、第三者から子へ伝わる事や、親の知らないうちに子が

知る事（本人が直接、母子手帳をみるなど）が一番怖く、不安です。追跡調査は、その時々アンケートやモニター形式で、後々形に残らない形式を希望します。

- ART 後の妊娠であるかを母子健康手帳への記入が制度化されたら、私達（親はいいけど）、その手帳を将来、ART で授かった子供が見た時の事を考えると、少し不安である。
- 正常妊娠による児と ART による児の、その後の発育状況の統計には非常に興味があります。データ的に大差が無い事が立証され、少しでも早く ART が保険適応治療となれば…と心より願います。
- 不妊治療を受けている人に対して、世間一般においてまだ理解が浅いと思う。そうした中で「守られている」安心感があれば追跡調査はしやすくなると思う。
- まだ私の周辺では ART に対して理解してくれない方がいます。母子手帳に記入することで自分だけならまだしも、子供にまで心ない言葉をかけられるのは耐えられません。プライバシーが守れる方法で調査して頂くことを強く願っております。
- 体外受精後、胚移植したあと、どのように生活すべきかとか、注射するのにしても、何に効くのかなどの説明がほしい。あと、年齢的にも子宮中が元気になるための食材とか、そういったパンフや説明がほしい。不安なところもあるので。
- 自分自身、ART 治療の上でも早く子供を授かりたいと思っていて、納得して治療を受けていますが、今後治療を受ける人が統計的に参考となるようなことがあると良いと思っていますので、追跡調査は可能な限りできると良いと思います。ただ、子供本人に治療で授かったと知らせるつもりはなく、周りの人にも公表したくはないので、他人に知られるような調査とか、届けの記載に残すことは反対です。
- 不安なことは沢山ありますが、是非調査をしっかりと行って頂き、私たちのような人たちの不安を払拭して頂ける様、よろしくお願いします。
- 私の個人的な意見としては、ART を行っていることは何の抵抗もありません。しかし、未だに他人に言えない人がいるのも事実です。今回の調査の主旨とは離れてしまっていますが、もっと多くの人に理解をしてもらい、患者の負担を軽くしてあげることも重要ではないでしょうか？ART を行っていることを人に知られたくないと思う人が多くいる限り、調査の行き詰まりがあるのでは？と思ってしまいます。どうか、今後、不妊に悩んでいる人の精神的・金銭的な負担が減っていきるように切に望みます。
- このアンケートはふざけている。私は1人出産して6才になる息子がおりますがいたって健康。長期予後とはどういう意味なのかわかりません。これから先の日本を考えると、少子化は大問題。治療も保険内とか早期策をしてほしいです。もう私は治療は終了する年となりますが、不妊治療10年、自費は大変でした。
- 倫理的な問題であり、ART で生まれて成長することで健康に育ち、問題がないと現在より認識されれば、多くの婦人達が受けることが出来るでしょう。又、助成金額の面でも見直していただき、経済面での負担を軽減（受ける側）になる。婦人科学会での研究も向上してほしいです。一定の年まで検診すれば安心です。妊娠後でアフターはしない考えも少し商売の様な感じもするし、予後の経過も把握することは、ART 施設のレベルアップにもつながる。母子手帳は成人した当人も見ることもあるし、ART 施設との問題だと思う。記入することで他医院の偏見もあり、健康手帳

記載する側の考えも、一般とは異なる。

- 質問9の②と③は、絶対に嫌です。実際にARTを受けていることすら、人の目を気にします。なので、妊娠後にそのようなことがわかる記載は反対です。
- 私は体外受精の説明をきいた時に、通常の妊娠と変わりなく子供は成長しているという例を聞いて安心していました。ですので、追跡調査というのは私共のような者がやはり多くなる中、必要かなと思いましたし、私自身、自分の子供にもこうやって生まれてきたんだよという事は話すつもりです。ただ、それが、差別を受ける対象ともし仮になった場合の事を考えると、あまり口外すべき事でもないし、その家族の判断に委ねられるような追跡調査であって欲しいと思います。ただ、追跡調査とは別に、医学の進歩により私は子供を授かることができたので、心から感謝しております。
- 生まれた子供に知られたくない場合もあります。ART自体はすばらしい医療技術だと思いますが、それを知った子供本人や周りの目や反応はいいものばかりではないからです。不妊治療を受けている人は増えているのに、偏見を持つ人は今が多いと思います。そのあたりはとてもデリケートな問題です。母子手帳や出生届など、子供や他人が見ることができるものへの記入は反対です。
- 不妊治療の助成を5年以上にして欲しい。健康保険が適用になると尚望ましいです。
- 本日、野田聖子議員が出産と聞きます。その点についても様々な問題があります。調査の為に、平等である子供自身の心を犠牲にしてはならないと強く思います。ARTなどは、親のエゴの一つかも知れません。調査の目的が“子供の為”になるものであるなら協力すべきであります。 “国の為” “国民調査目的” とするならば、少し異議を唱えます。不妊治療をしていても国も企業も手厚い保護などありません。もう少し厚労省や国の業務が信頼できるものであれば、喜んで協力したいと思います。頑張ってください。
- ARTという画期的な方法で妊娠し、出産できた人は有難いと思っていますが、まだ一般的でない為、個人情報観点から調査事項が漏れる事だけはあってはならないと思います。
- 母子手帳等に、ART後の妊娠のことを記入するのは嫌です。表にでないように医療機関同士で連絡してほしいです。全ての人がARTをよく思っているわけではないので、差別化されて、もし子供に知れたら、反応がこわいです。
- 私達の年代では、ARTは周りを見てもさほど特殊ではないと思っていますが、親世代にとっては少し理解に苦しむ様子です。そこまでして子供がほしいのか？といった話をよく聞きます。なんとなく…ですが、普通の子供じゃなく人造人間とでも思っているかと思います。なので、体外受精という言葉の重みをもっと軽くできるよう、もっともっとTVなどオープンになってもいいと思います。生まれるまで機械の中にいるわけでもなく、母体で育つ普通の子供なんだと理解してほしいです。あと、思った以上に不妊に苦しむ人は自分の周りにいます。金銭面での軽減は課題だと思います。
- 自然妊娠を望んでいてもいろんな事情で子供を授かる事ができない人は、まだまだいっぱいいらっしゃると思います。体外受精、顕微授精などで授かっても、「命」には変わりありません。どんな授かり方であっても、生まれた後まで「追跡」という形で調査をする事は、「命」の偏見のように思えて反対です。実際、私も治療の時、いろんな病院の先生方に「体外受精であっても、顕微授精であっても、妊娠すれば自然妊娠の方と一緒に（同じ）ですよ」と言われて治療を受ける決心

がつかしました。先々、子供が生まれても ART で授かった事をかくす事もしませんが、あえて自分から言う必要もないと思っています。不妊治療で悩んで苦しんで、やっと授かった「命」を生まれてからも差別しないで下さい、追跡しないで下さい。そして、不妊治療が一日でも早く保険対象になってほしいと願っています。

- 追跡調査の内容が具体的にわからないので、回答しにくいところがありました。
- ART で生まれたことを子どもに伝える、伝えない、あるいは伝えるにしてもその時期をいつにするのか？は、各家庭の事情や子供の状況、理解度、個性によっても異なると思われるため、他人に干渉されたくない。このため、母子手帳や出生届など、他人の目に触れる書類には明記することを義務づけないでほしい。ただし、追跡調査の観点もさることながら、子供が病気などで小児科にかかる際に、もし ART で生まれたことを医師に伝える必要があるのであれば、必要に応じ、守秘義務が守られる前提で医師には伝えると思う。子供に恵まれず悩んでいる人が安心して ART を利用できるようになるように、また、ART で生まれた子供が差別を受けることのないように、適切な調査がなされることと、その調査結果が公平に広く一般の人にも認知されることを願っています。
- 現状では、治療を受けて授かった子は「特別な子」として見てしまう人もまだまだ多いかと思えます。その偏見が少なくなってくれればうれしいです。自分としても安心して治療を続けられるよう、調査は大事な事だと思います。
- ART 後の妊娠ということは事実ではあるが、これをわざわざ形に残るもの、特に公的な機関が発行する書類等に記載をすることは、妊娠を種類で分けるという意識につながり、良くないと考えます。今までそのようなことを考えたことはありませんでしたが、今回のアンケートを読んで初めて危惧しました。そのようなことは絶対にすべきではないと考えます。
- ART 後の出生や、その子供の発育など（普通妊娠と比べて違いがあるのかないのかを含め）、さらに調査、研究することは非常に大事だと思う。今後、ART を受ける人の参考になるから。ただ、自分はまわりにも不妊治療中であることをふせているので、追跡調査をされることにより、親などまわりにも不妊治療を知られるのはイヤだ。なので、勝手だとは思いますが、自分には追跡調査はされたくない、というのが正直なところです。
- 長い間、不妊治療を受けています。今後の研究と発展に役立つのであれば、調査は必要だと思いますが、子どもが差別を受ける様な事がない様をお願いします。
- 体外受精をして妊娠する事を望む中で、第 1 子はその結果、先天性異常で産まれてき、第 2 子も可能性ある中で、今の日本では着生前診断が認められていないので、1 人でもそういう子どもたちを減らす為に着生前診断が認められるように、産婦人科学会だけでなく、生殖医学会、小児科学会など連携してほしい。
- 産まれた子どもが、後日何らかの形で ART での妊娠だと情報が伝わる方法での追跡調査は反対です。質問 9 でいえば、2、3 は反対です。また、このような追跡結果が私達にも報告されることを希望します。2 人目、3 人目も考えており、多分 ART をすることになると思うので。
- ART により妊娠、出産した子ども達が、きちんと健康に成長している事を、世間に伝えて欲しい。そうすることにより、医療保険適応や、不妊に悩む人々の力になるようにしてほしいです。

- ・自然妊娠と違いがあるのかなどもっと知りたい。 ・料金が高いので少しでも保険が適応されてほしいです。
- 今後の治療の発展のためにデータをとられるのは良いと思いますが、十分に個人情報保護されるべきであり、母子手帳や戸籍など、第三者が見られるものには記載されるべきでないと思います。そのような制度を作る前に、国は不妊治療を保険適用とし、保育所を完備するなど、やる事が山積していると思います。
- 費用が高くて…。保険が使えるとうれしいのですが…。
- 今回、不妊治療を受けるにあたって、普通に妊娠し出産した場合と比べてどのくらい胎児に与える影響があるかなど、不安なことがたくさんありました。実際に調べてみるとそう変わらないと知り安心しましたが、不妊治療を受ける方は必ず不安になると思います。そういった方々のためにも、これからもより深い調査を続けて行ってほしいと思います。
- 調査自体には是非協力させていただき、後に続く方に役立てて欲しいです。一点気を付けたいのは子供への配慮です。ART 出産ということで周囲から差別される危険性は絶対に排除したいです。また、子供に伝えるかどうか、それは何才位にどのように伝えたらいいのか（→これも1つの大きな研究・調査テーマだと思います。先達の経験を知りたい、参考にしたいです。）大変デリケートな問題ですので（時には親子間に溝を作るでしょう）一律、母子手帳、出生届への記入義務付けには断固反対です。
- 治療の事を知られたくない人もいるから母子手帳に記入するのはやめてほしい。妊娠した時に必要な書類をもらって、その後の経過などを郵送やメールで報告とかなら調査されてもいいと思う人も多いのではないかと思います。
- このような調査がどうこうと言う前に治療を保険適用を。一部でも良いです。助成金も見直しをしてください。もっとたくさん不妊に苦しむ人たちが治療を受けることができますように。
- 「自然に妊娠できない」という後ろめたさから、やはり必要以上にあちこちに知られたくないのが本音です。生殖補助医療技術の向上に追跡調査は必要と思いますので、ART 施設もしくは出産した病院からの調査であれば協力したいです。
- 不妊治療費が高額なのでもう少し見直してほしい。
- ART 後の妊娠、出産であれ、自然妊娠による出産であれ、子供が授かるという事に関しては最終的には神の領域ではないかと考えます。ART 後の妊娠による出生児は今後も増えていくと考えられるので、差別視されるという事はあまり考えられません。ただ自分の子供が出生の源が ART であると知った時にどう感じるかというのは、少し心にひっかかるところです。なので母子手帳に記入というのはどうかと思います。母にとっても子供にとっても大切な思い出の手帳なので、ART というのを記入する必要があるのかどうか疑問に思います。それよりも、各医療機関と調査を取りまとめる機関などが連携を深め、追調査が出来るような体制作りを整えていく方が良いと考えます。
- 今回、初めてこの様なアンケートを記入しました。以前も、前からこの様なアンケートがあったのでしょうか？…やはり ART で授かった子供は何か問題がある様な統計があるのでしょうか？
- 質問 5 以降の「追跡調査」の意味がよくわかりません。調査の内容によっては行ってほしくないと思いますし。具体的に、母体に関する調査なのか子供に対するものなのか、健診的なものなの

か、紙面によるものなのか、とか。デリケートな問題なので調査の内容により意見はちがってく  
ると思います。

- 子どもに自分が ART で生まれてきたということを伝えるかは各々の考え方で、伝え方・タイミン  
グ・どこまで伝えるか、個人に任せるべきだと思う。母子手帳に記入するのは強制でなく、任意  
でお願いしたい。私個人は記入しないが、追跡調査には協力したいと思う。
- 不妊治療の必要がなく、自然妊娠した人達にはどうしても理解してもらえない所があると思う。  
ART でも必ず妊娠出来る訳でなく、結局は受精するのも、着床するのも、受精卵や子宮の状況次  
第であって、すべてが人工的に操作されて授かれるという事ではないので、その辺りの知識も不  
妊の人関係なく理解してもらえる世の中になるといいな、と思っています。ART で授かった事を  
子供に伝える方法…という、私なら伝えないかもしれません。
- このようなアンケートは、今後、不妊で悩んでいる女性にとってとても参考になると思います。  
まとまったら是非 HP で公開してほしいです。私が成人を迎えた日に母から母子手帳を貰いまし  
た。私も子供が成長したらプレゼントしたいと思っています。なので手帳には妊娠の成立過程は  
記載してほしくありません。
- 私は、不妊治療をして子どもを授かり、とても感謝しています。どう授かったか…？よりも、授  
けてもらった喜びや幸せの方が私としては大切な事と思っています。ですから他人に聞かれれば  
恥じる事なく伝えるし、同じ立場の方がいれば話し共感したりします。子どもにも聞かれれば教  
えてやりたいし、子どもがいずれ出産する時は話してやろうと思っています。命をさずかるまでの  
治療を日記にまとめて、その時の気持ちを書きつづっています。私は、それをいつか子どもに見  
せたいと思っています。でも主人はかくしがりますね。夫婦 2 人のひみつにしたいようです。
- 医療従事者の私は、せまい県内で、病院、保健所、保健センターなど知人が多く、不妊治療の助  
成金の申請もできませんでした。もっとプライバシーを守れるシステムができれば、様々な研究  
ができるのではないかと思います。
- 不妊治療を受けている者としては、今後 ART の研究が進むことをせつに願っております。しかし、  
ART による妊娠、出産だということで生まれてくる子供やその家族が不利益をこうむることは絶  
対にさけるべきだと考えています。
- ART を行ったことは、自分の子供には知られたくないです。
- こちらに記入すべき事ではないと思いますが、体外受精等を保険適用にして欲しいと切望して  
ます。本当に子供が欲しいです。でも毎回毎回本当に大きな出費になっています。一般的な家庭  
では本当に大変でそれがストレスにもなります。現行の制度では自然妊娠できないお金がない人  
は子供が生まれません。毎日痛い思いをして体もおさいふも痛いです。私のような女性はたくさん  
いると思いますが、声が政府に届きません。先生方のような方達の方が世の中を動かせる力があ  
りになると思います。すぐには無理だとは思っていますが、何かして頂けるとありがたいです。
- 質問 7：本来は“1”ですが、一般の人に学会等の区分は不明瞭。質問 10：制度化だけを聞  
かれても詳細が不明。保険や補助などの議論・説明なしに制度化のみを問われても回答が困難。  
アンケート自体が説明不足。必要に応じて補助資料等必要。
- 質問 5 で「妊婦が選択する」という選択肢がなかったことに残念な気持ちになりました。
- 私達夫婦もお世話になり、だんだんと世の中でも受け入れられるようになったと思いますが、ま

だまだ普通妊娠で授かる方や、年配の方などには理解がむずかしいようです。追跡調査をする事は必要かもしれませんが、それを必要以上に母子手帳に記載したり、出生届に記載するのは反対です。“普通の子供じゃないの？”と思うから。子供の差別などにもつながるのでは？私は子供にも言うつもりはありません。聞いてこないかぎりは…。そして、せっかく ART という高度な技術があるのに離れていくのではと思います。私もそうなるかもしれません。私は田舎に住んでいるので、出生届など市役所などの行政などの方もすべての方が知り合いです。はずかしくはないけど、言わなくていい事は言わなくていいと思うので…。病院は自分でお医者様も決めれるし、ART の事もわかって下さってるからいいと思いました。

- 不妊治療でしか子を授かれない。通院も大変であり、仕事をしながら続けるのも限界になり、辞めてしまった。保険適用もなく、何回したら妊娠するかもわからないのに、今の助成制度では金額も少なすぎるし、回数や何年以内としている所もあり、おかしいと思う。少子化をくい止めたのならこれらをどうにかしてくれないと、不妊治療している夫婦に限って2~3人欲しいという人が多いのに、それが金銭的に難しくて1人がやっとなという人が多い。少しでも不妊治療にかかる費用の負担を少なくして欲しい。私達も1人目に数百万使ったが、それでも2人目を作る為治療中。
- 先日、昼ドラで「天使の代理人」というのをやっていました。その中で ART で授かった子供の話がありました。私は子供や周りの人にそう言う事を話すつもりは全くありません。もちろん子供にも、望まれて産まれて来た子だと話したとしても、子供の気持ちを考えると話すべきではないと感じました。とてもデリケートな話とは思いますが、私や夫のみに追跡する形であれば良い（協力出来ます）のですが…。因みに上の子は現在4歳で毎日元気に保育園に通っています。
- ART 後、産まれた子供達の成長、異常（障害など）についてくわしく知りたいと思っている患者さんは多いと思います。ただ産まれてくる子供が ART で産まれたことを知ることで何かしら影響を受けるならば、知らない方がよいと思うので母子手帳への記載は疑問です。
- もし今後追跡調査を行う事が実現した場合、その結果は、分かり易い所で公表してほしい。（ex. 新聞、インターネットなど）
- 不妊治療も保険適用してほしい。金額が高すぎ、体外受精をしたくても出来ない人達が居るのも事実。
- インターネットで不妊治療を受けている方々の意見を見てみると、実の親にも内緒にして治療している方もいらっしゃるようです。そのような立場の方や、治療によって産まれた事を子供に伝えるつもりのない方達にとって、制度化されて母子手帳への記載が義務化されることは、治療期間中のストレスや不安以上に悩ましいものだと思います。出生届記載など、もつてのほかでしょう。不妊治療のことは治療経験者でなければ分からないと思います。不妊治療自体が世間的に知られ、理解され、偏見がなくなった時点で考えて頂きたいものだと思います。（その為の調査と言われてしまえばそれまでですが。）
- 補助（不妊治療）の拡大が必要だと思う。特に所得制限の緩和（本当に苦しかった！！）二人共（体外で1500万位（医療費外含）かかっている）もしくは、健康保険の適用。NICU 不定の影響で卵を1つしか戻せないとも聞いているが、一部の妊娠健診を受けないような方やとびこみ出産しようとして診療拒否を受けたような報道の影響で不妊治療患者が不利益を受けるのはおかし

いと思う。経済的に言うならば、1つの卵より2つの卵を最初から戻して確立をあげてくれた方が良いとも思う。今、体外で子供が授かり、二人共妊娠するまで多額の必要がかかっています。多くの方が経済的にあきらめる方もいらっしゃいます。何とか策をお願いします。

- 協力しようと、質問内容を読み、答えていくうちに、涙が出ました。私は、早く母子手帳が欲しくてしかたありません。その内容にARTによって生まれた事が記入されたら、『差別』以外ありえません。質問9、10は、何の意味があるのか分かりません。いくら助成金が申請できても、決して安い医療費ではありません。子供手当が値上げされ、禁煙には保険が適応される…他の国の子供へ援助、でも不妊への対応は？子供が少ないと言うのなら、それなりの対応が欲しいのです。医療費を考え、子供を諦める人、たくさん居るのです。竹下さんが、多くの方が子供を抱く姿を望んで下さるのなら、厚生労働省へ現状を伝えて下さい。働き掛けていただけるのを期待します。
- 追跡調査は必要な事であると思う。検診する病院と、分娩の病院がちがう場合、紹介された病院より電話で追跡調査された事もある。本人で申請する際に記入するのに抵抗のある方も多いのではないかと思う。
- 調査によってARTでの妊娠・出産に問題がないかどうか、わかることは良いことでやってもらいたい。しかし、生まれた子供にARTであるとわかる形でやってほしくない。あくまでARTを選んだのは親であり、子供によけいな事を考えさせるのはよくない。
- 血縁者（特に両親）と配偶者の家族（義母、義父）には絶対に知られたくないです。そして、生まれた子供にも知られたくないです。母子手帳に記入するなど絶対にいやです。私は職場にもごく少数（上司3名）にしか伝えていません。何かがあった時（病気等）（障がいも含む）純粹に喜ばれないから…。追跡調査はすごく大切だと思う。だけど本人（母親（自分））以外の人は絶対に関わらない形で行われたら良いと思う。できれば、子供が大きくなるにつれて、自分もこの治療のことを忘れるくらいの時期（6才くらいまで）に追跡調査が終われば良いと思う。
- 不妊治療の助成金が、年2回15万は少ないと思う。子供がほしくて頑張っているのに年に2回しかでないので、お金がなくてあきらめてる人も不妊治療のブログでよく見ます。とても悲しい気持ちになります。逆に、虐待をして子供を死なせてしまう親もいます。そんな親を見ると“子供をちょうだい”と思い、許せません！！子供がほしくて頑張っている人たちは、子供を大切にしたいと思います。なので、もう少し助成金をだしてほしいです。
- 生殖補助医療のおかげで私達夫婦は尊い命を授かりました。だからとても感謝しています。でも、質問9、10の項目は、現状を考えた時精神的にしんどいです。追跡調査が必要なら協力はいくらでもできますが、とてもナイーブな領域、プライバシーにも関わる事なので必要以上に情報を公開されることは苦痛です。できれば、そっとしておいてほしいです。
- もうすこしARTをピーアールして、ハードルの低いものと知って欲しい。
- 体外受精について、親は特に何も感じなくても、子どもはそのことに対してマイナスの感情をもつことも想定されるため、特に幼少から青少年期は知らなくてよいのではないか。大人になれば、受けとめられると思うが。禁煙やメタボ対策に助成金をだすよりは、不妊治療の助成を行う方が国益にかなうと思う。厚生労働省の取組はぬるい。
- 母子健康手帳への記入は絶対に反対です。学校へ持って行く場合があると聞いています。これら



の意見は、個人によって考えが異なります。制度については、ある程度選択肢がある事を希望します。

- 質問 10 について。私自身は①で問題なのですが、将来、その子供が自分が ART による出生であった事を知る可能性が（母子手帳から）ある事が心配です。私は自身の子に説明する自信がありますが、個々の夫婦でその事実を子供に伝えられないケースもあるかと存じます。よって個人情報を守られる方法での制度化をお願いします。
- 体外受精に臨む際、赤ちゃん、自分自身にかかるかもしれない様々なリスクや倫理的な問題等、全てを受け入れる覚悟で臨みました。今後産まれてくる子供の成長のためにも、体外受精によって生まれた子供の出生後のサポートや体外受精の見直し、改善等の策をとることができると思うので、追跡調査は大切だと思います。
- 追跡調査は必要だと思っはいますが、我が子が第 3 者から ART で生まれた事を知った時を思うと、慎重、かつ、とてもデリケートな問題だと思います。自然妊娠と ART で妊娠した子（生まれた子）の差別は絶対にあってはいけない事、しかし、ART で生まれた事による問題があるのだとしたら、生まれてからも ART を経た妊娠である情報は必要で…。上手に制度化してほしいです。
- ART は経済的にも身体的にも大変な負担です。それが少しでも楽になればと思います。
- 医学的な研究としては長期的に ART で産まれた子供達を追跡するのはよい事だと思うが、いまだにいわれのない偏見もあり（私の母は孫が IVF で産まれた、娘が不妊治療をしていたという事を他人に言わず、不妊だったが自然妊娠したという説明をしている。）デリケートな問題だと思う。どうか、ART によってうまれた人間が差別されるような事のないよう望みます。辛い治療をしているのを間近で見ていた身内ですら「変な子がうまれるんじゃないの。」という様な事を、平気で口にします。まず、国民全体の意識が「ART は当たり前のこと。」と感じられる雰囲気でもない限りは、マスコミ等で面白おかしくとりあげられてしまいそうなので、結果などの扱いには気をつけてほしいと思います。
- ART によって産まれてきた子供が差別されなければいけないのかがよくわからない。もし私に子供が出来、無事に出産出来たとしたら、いずれ子供が大きくなった時に話すつもりでいます。なので母子手帳に記載されるのが義務づけになってしまうと、万が一話す前に子供が見てしまったらどうしたら良いのかわからなくなると思います。
- 妊娠のプロセスが違うだけで、妊娠してしまえば自然に授かった人達と何ら変わりがないと思っていたのに、このアンケートからは、ART の子を差別しているように感じられて少し悲しい気持ちになりました。今後治療を続けていけるか不安に思います。
- ART 後の調査は、自分のためにも今後 ART をされようとされる方のためにも必要であると思います。産科が今の病院にあれば妊娠後も現在の病院でお世話になることができれば、より安心してお願いできると思います。
- ART の料金高すぎ！！補助が少なすぎ！！
- 特にないですが、とにかく、同じ思いをしている人たちの役にたつのなら、どんなことでも OK です。アンケートでも調査でも協力します。
- 将来、子どもは必ず母子手帳をみる。小・中学生の時、学校にもってくるよう、実際に言われたことがある。他人（身内以外）に見られる可能性がかなり大きいので絶対反対である。言語道断。

- ART 出生した子において、本人に後々知ることの無いようにしたいので、母子手帳等の個々の所有するものに記入強制には同意致しかねます。
- ART であることを公的記録に残したくはありません。まだ偏見も多いですし、子供にも知らせないつもりです。それよりも、精子／卵子提供は記録に残すべきと思います。遺伝子のルーツがトラックできないと、子供にとって不利益が生じるのでは→健康面、心理面 etc。調査内容からはそれですが。
- 私自身、胎児水腫の判断で人工死産の経験があります。食生活、薬、生活面で何が原因だったのか気になりました。(それ以外、卵子や精子、染色体、その他の検査はしました。) トータルで何かアンケートを取ってみると、意外な事実が見えてくるかもしれません。このような統計は取ってみる必要があると思います。
- これから絶対増えてくる必要な医療だと思うので、ぜひ役立てて頂き、今後のためになるよう願っています。
- 今後、治療を進めていく上で、体外受精を受け授かったお子さんたちが、他の子供たちと変わらず元気で過ごしているのかどうかということはとても気になります。とても難しい調査となると思いますが(中には体外受精や不妊治療を受けたことを隠したい方もいらっしゃると思うので)今後、女性の社会進出や晩婚化などで不妊治療を受ける方は増えていくと思うので、頑張ってください。
- ・調査は重要であり、協力したいが、個人情報保護に不安がある。 ・ART について子供に話すつもりだが、状況を見て適切な時期に親から伝えたいと思うので、調査等をきっかけに子供に伝わってしまうのではないかと心配。 ・母子手帳への記載は反対だが、制度化されるようであれば、ART を受けていない人の ART の知識が必要なのではないと思う。
- 追跡調査は必要だと思うし、役立てて欲しいが、ART での妊娠という事実を子供や親せきに知られたくないと思っているため、母子手帳への記載は反対です。このようなアンケート用紙を郵送するなどして調査するなら賛成です。
- 上にも記載しましたが、ART による子供の長期予後について、患者さんが情報を知るために行うならわかりますが、子供ができず、苦しみながらがんばっている人達に対し、希望を捨てさせるような動きをされているようで、悲しくなります。ART で産まれてくる子供の人権をというのであれば、欲しくもないのに妊娠してしまい、中絶でなくなっていく日本の多くの胎児の人権はどうなのでしょう。安全性と情報提供の為の調査ならわかりますが、このアンケートの内容からは、とても生殖医学に真剣に患者の事を思っかかっていると思えない印象を受けます。
- 質問 9、10 について、もし記載欄ができたなら、その記入欄についても慎重に検討してほしい。母親の心療面等、傷付けないような。
- 正直、差別されることへの不安があります。病院に行くことも、職場で理解を得るために周囲に話したりしますが(必要だ、当然理解すべきことだと思って)、やはり不安はあります。ただ、だからといって、マイナスにとらえることは、生まれた子供にとっては大変失礼なことだと思います。研究が進み、安全性が世の中に認められる日も、実は案外早いうちに来るようにも思います。子供を生みたい女性はたくさんいます。是非、そんな女性たちのためにも、また、生まれてくる、来た子供たちのためにも、この研究が良い方向に進むことをお祈りしています。がんばって下さ

い。よろしくお願いします。

- ART で出産した子供が本当に何の問題もなく成長するのは気になります。医療の技術進歩と倫理面のすり合わせ、安全面、考えなければならぬことも多いです。でも、やはり我が子を抱きたい気持ちが強いもの。少し複雑です。
- 産まれた子が大人になって結婚するまでは、調査してほしいなと思います。
- 後半の質問は答えにくかったです。それは、現状についての情報が一般の私たちにはわかりにくいからです。
- 医療機関同士が一番良いのだろうけど、地元の小児科とかなどだったら看護師等、どこから情報がもれるか分からないという危険があると思う。追跡は今後の為に必要だとは思いますが、まずは当人とその親の ART であるという情報がもれないようにすることがまず第一であり、追跡は 2 の次だと思う。母子手帳は、親や友人へ見せる事もあるだろうから絶対に記入はやめてほしい。ART は最終手段であり、治療を受ける当人には精神的にも肉体的にも非常に辛い治療である。記入する事で ART をしたという事実から逃れられないのはとても辛い事になる。
- ART 後の妊娠・出産は、産まれた子にとって何の問題もないのだという事を追跡調査で明らかにすれば、不安も軽減されると思います。私は、ART が出来たこの時代に生きて本当に良かったとしみじみ思っております。
- 自然妊娠と ART 後の妊娠についての差別化は絶対反対だが、今後 ART を受けて妊娠する人の安心材料として追跡調査の結果は気になる部分なので必要だと思う。
- 不妊治療をしていく中で、周りの無知から ART に対しての偏見、差別を思い知らされる事が何度かありました。世間的にもっと認められるまでは個人情報自体も含め、守秘義務を守りたいという考えをもってます。
- 母子健康手帳への記入は差別のような気がしますし、また、そのような制度になると病院に行く方も少なくなるのではないかと思います。そして母子手帳に記入となると、産まれた子供は自分が他の人とちがうと思うのではないのでしょうか？
- まず、このアンケートの趣旨に対してですが、“元気に育っている”とはどういう定義で言っておられるのでしょうか？障害がある？ない？出生時のトラブル等のある？なし？妊娠中のリスクの大？小？では、それぞれに人数が集計できたとして、それが ART を受けたからそうなったのか？などは、どういう基準で結果として報告するのでしょうか？ちなみに、我が子は妊娠中も出産後も特に問題なく元気に（正常に？）育っていましたが、1歳10ヶ月の時、突然、急性脳症にかかり、現在は障害児です（3歳）。それでもとっっても元気で熱もあまり出しませんよ。そういった中途障害を持つ子供などに関しても、ART をうけたからそうなったのか？を判断することはできるのでしょうか？私個人としては、追跡するならするで、もうすこし明確な判断基準や目的を持つてのぞんで欲しいと思います。
- ART 後の妊娠であるかどうかは医師にしか知られたくありません。出生届や手帳から他人に知られることは、知識のない人達の話のネタにされるだけなのでとても嫌です。妊娠までにも精神的に追いつめられて、妊娠後もそういうことに悩むのは悲しすぎます。
- ・一口に ART と言っても状況は様々なので、よほど細かくデータを取らないと意味が無くなるのでは？ ・ART に対して偏見を持つ人もいますので、調査は慎重に行ってほしい。 ・ART で生ま

れた子の追跡調査をする意味がよくわからない。生まれるまででよいと思う。

- 20歳になった時に母親から自分の母子手帳をもらいました。予防接種の有無など母子手帳を開く機会もあり、今、その母子手帳に自分（子供）の出生の詳細（ART）が記載されることに、妊娠した今、少し抵抗はありますが、不妊は現代では珍しくなく、35才以上の4人に1人は不妊治療を受けているというデータをニュースでも見かけ、将来はもっと不妊に対する世間の見解は多様に広がるのではないかと思います。そう考えると少しでも医療技術が進歩し、不妊治療も一つの何でもない?! 通過点になるようお願いいたします。
- 不妊で悩む夫婦が数多くいることを多くの方に知って頂きたい。子供がほしくても経済的理由であきらめなければならぬということ。少子化対策の方向性に疑問を感じます。体外受精等で妊娠できる方が多くいるので、もっとサポートして頂きたいです。お子さんを望むすべてのご夫婦に授かります様に…。
- 医療機関のカルテ等の情報が残る以外で、母子手帳、出生届に何故記載する必要があるか、分かりません。個人の情報と医療情報を混同しないでほしい。個人の健康手帳にくわしい医療情報はないと思います。
- ARTに受診している女性＝普通でない…みたいな目で見られている様な気がしていましたが、受診する人が多いことにビックリしました。そして、ARTで妊娠した子供はどこかに障害が出るのではとあやまった考えをもっていました。でも、子供をさずかった今、“案ずるより産むがやすし”受診してよかったと思っています。もっと世間の人々が理解してくれて、国でももう少し費用の面で助けてくれれば最高なのですが。もう1人ほしいです。
- 不妊に悩んでいる人、治療をしている人、治療してもなかなか子供が授けられない人、治療を様々な理由でやめてあきらめてしまう人は、きっと子供は望めばできるものと思ってた人がほとんどだと思います。それが違ってたことに対する様々な気持ちを抱えています。様々な気持ちの中でも、不安、後悔、いらだち、絶望など、マイナスのものを持っている人も多数いると思いますので、研究にはこれらの気持ちを持つ対象者だという配慮を十分にさせていただいた上で行っていただきたいです。出産後も「普通の出産」ではない事への気持ちもあるので考慮していただきたいです。自分の経験を今後の向上に役立てられるなら、誠実で真摯にアプローチして下さる限り、積極的に回答できると思います。
- 医療技術の発展のためには重要なことと思いますが、いろいろな意味で大変な思いをして授かった子供が、質問にもあるように差別を受けるようなことがあるのは本意ではありません。自然妊娠で生まれた子供と同じ命であると思いい治療をがんばっています。医療機関と両親が信頼関係を築いた上でプライバシーの守られた調査を希望します。
- 金銭的から IVF へふみきれない方も沢山います。1日も早い保険適用を治療者は望んでいます。「年2回まで」の助成金じゃ全くたりません。少子化対策というなら、この段階から対策にとりくんでほしいものです。国、県は現状が全くつかめていないように思います。
- ・ARTでの妊娠・出産でやはり心配なのは、障害の有無です。先天奇形についてもそうですが、以前、発達障害のリスクが高くなるとの話をきいたこともあります。なので、追跡調査は就学後も行うべきだと思います。 ・母子手帳への記入制度化は反対です。ARTをうけたことは、担当医だけが知っていればよいと思います。検診や予防接種などで他人の目にふれることの多い母子